

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (13)	コロナ禍により防災訓練に地域の住民の参加が困難であった。	災害時業務継続計画(BCP)を策定する	災害時業務継続計画(BCP)を策定に地域住民との連携を含めた計画を作成する。また地域住民にはコロナ禍解除に伴い防災訓練の参加を呼びかける。	12ヶ月
2	13	職員の高齢化による退職が続き中堅の職員のスキルアップ及び新規職員のケア技術の向上が急務である。	介護福祉士取得職員の増加、無資格者の認知症介護基礎研修の受講、認知症介護実践者研修の受講を推進し施設の資質向上を図る。	取得のための講義・実習は勤務時間として取り扱い、取得時の資格手当を交付する。資格取得に必要な時間確保のため勤務シフトも優先的に配慮する。	12ヶ月
3	49	コロナ禍で多人数での外出・外食を見合わせている。	入居者様に外出・外食を楽しんでもらう。	勤務シフトを調整し日勤者の確保及び外出可能な利用者様の体調管理、ご家族からの許可及び支援を頂けるよう働きかける。	6ヶ月
4	4 (3)	コロナ禍で運営推進会議の参加者が減少した。	コロナ禍解除に伴う家族や関係者の参加者の増加を図る。	施設に来ること自体遠慮されているご家族へ電話での感染症対策しているために遠慮が不要と説明をし参加をお願いする。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。